

【私立春日部共栄中学高等学校】 新たな森 植樹活動



今

年 10 月 1 日に部分開園した「春日部夢の森公園」で、私立春日部共栄中学高等学校の生徒による植樹活動が行われました。県民参加による植樹活動には様々な形がありますが、今回の活動は、エリア設定型の活動となります。活動主体自らが森林の育成を目指していくものです（詳細は後述）。今回、春日部共栄中学高等学校の生徒約 100 名が、コナラ、クヌギ、シラカシの苗木を計 91 本、植樹してくれました。

【日 時】令和 4 年 3 月 8 日（火曜日）
14 時～ 15 時 30 分

【場 所】春日部夢の森公園
（春日部市下大増新田地内）

【参加者数】約 100 名

【活動団体】私立春日部共栄中学高等学校

【運営サポート】株式会社 建設環境研究所

【事務局】埼玉県



準備の様子



公園のコンセプトを学ぶ生徒たち

はじめに、メジャーと竹棒で目印を付け、植える場所を決めていきました。準備については植樹スタッフが指導しましたが、作業は生徒会メンバーが自ら行いました。全員が揃い、植樹スタッフから公園のコンセプト、作業の概要についてレクチャーが行われました。久しぶりにみんなが集まった機会とのこと。開始時には小雨も止んで、いよいよ作業の開始です！



みんなで植樹場所に移動してから、実演形式で植樹スタッフが植え方をレクチャーしました。生徒達は、スタッフの話を熱心に聞き、手順を確認していました。その後、各々の持ち場に分かれ、3～4人一組で1本の苗木を植え、あっという間に91本の苗木を植えることができました。



植樹する場所



植樹する苗木



植樹場所へ移動する様子



植え方のレクチャー



植樹の様子



植樹後



植樹後

今回植樹したエリアでは、苗木が大きく育つよう、今後も春日部共栄中学高等学校のみなさんと世話をしてもらいます。この活動は、公園の森づくり活動の「エリア設定型※」の参画方法に該当します。学校の周辺の景色を自分たちで作ることは、なかなかできない経験です。自分たちが育てる木が、立派に育ち、みんなが集まる森になることを目指し、頑張っていって欲しいです。

※「エリア設定型」：一定のエリアで、植栽後まず3年間の育成活動を主体的に行うもの。植栽後、除草、除伐、下枝払い、水やり等の作業を行う。

【私立春日部共栄中学高等学校】

新たな森 移植作業



今

今年10月1日に部分開園した「春日部夢の森公園」では、森づくり活動の一環として、3年前からコナラ、クヌギ、シラカシ等の広葉樹の苗木の植樹活動を行っています。今回、3年前に植樹し大きく育った木を、より広い場所に植え替えるため、私立春日部共栄中学高等学校の生徒のみなさんに、移植作業を手伝ってもらうことになりました。

【日時】令和4年3月8日（火曜日）
14時～15時30分

【場所】春日部夢の森公園
（春日部市下大増新田地内）

【参加者数】約30名

【活動団体】私立春日部共栄中学高等学校

【運営サポート】株式会社 建設環境研究所

【事務局】埼玉県



移植する株



移植作業のレクチャー

移植作業は、泥だらけになっても大丈夫！と事前に希望してくれた約30名の生徒の有志により行いました。移植スタッフから作業の手順のレクチャーを受け、いざ本番です！



掘り取り作業



まず3人1組のチームを作ってもらい、あらかじめピンクの目印を付けた株から、好きな株を選んでもらいました。傷つく根がなるべく少なくなるよう、慎重に、根の周りを丸くポットの形に掘り取りました。



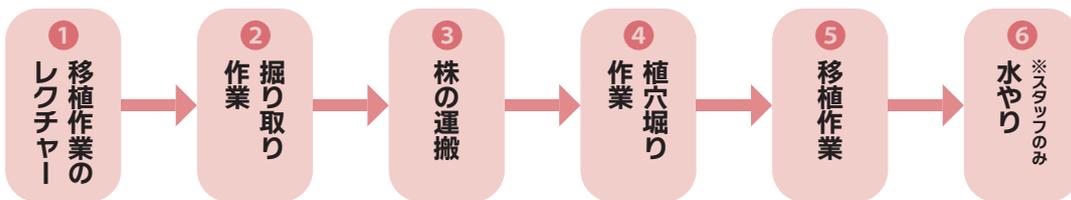
植穴掘り作業



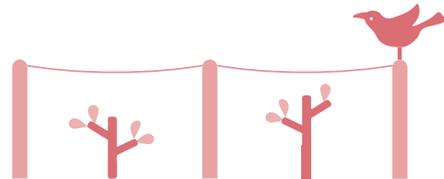
移植

掘り取った株を移植先に運んだら、植えるための穴を掘ります。根が生長できるよう大きめの穴を掘って、株を穴に収めます。最後に、根元に土を被せ、根の周りに隙間がないように押し固め、移植完了です！

移植作業は、以下の手順で行いました。



みなさん、てきぱきと作業してくれたので、なんと1組2回、全部で32本の移植を行うことができました！今回は、春日部共栄中学高等学校のみなさんに手伝っていただき、公園の森づくり活動を一歩進めることができました。今後も、森づくりの一員として、春日部夢の森公園に新しい森が育っていくことを、楽しみに見守って欲しいです。



移植作業のその後…



黒土を撒いている様子



水やり



移植後

移植後、少しでも根が生長しやすくなるよう、スタッフが、黒土をまき、たっぷり水やりを行いました。長い棒で根回りの土を混ぜて柔らかくし、なじませておきました。うまく根がつかますように！